第65回 事業所訪問

こんにちは健保組合です！

東京宅配事業株式会社（習志野市）の巻

今年の冬は、発達した南岸低気圧の影響により2月に千葉県で記録的な大雪を観測し、路面の凍結や交通機関が乱れ県民生活に支障をきたしました。関東甲信・東北地方では、広い範囲で大雪に伴い山間部の幹線道路が寸断され、人の往来や物流が滞り小売店などで品薄状態が続きました。「ひと」と「もの」が動くことで経済が活性化し私たちの生活は成り立っていますが、その一翼を担っているわが運送業界の役割は、国民生活・産業活動のライフラインとしていかに大切であるか、広く国民に伝わったことでしょう。

☆　☆　☆

厳しい寒さが一段落したかと思われましたが、真冬の寒さに逆戻りとなった3月3日、第65回事業所訪問先として、当健保組合事務所と同じく習志野市茜浜に本社を構える東京宅配事業株式会社（西宮洋子社長）にお邪魔することとなりました。

▲西宮洋子社長（左）と西宮彰宏専務

習志野市は、昭和29年8月に千葉県下で16番目の市として発足しました。古くは、軍都として発展してきましたが、時代の移り変わりとともに「軍隊の街」から「文教住宅都市」へ生まれ変わり、首都圏近郊の住宅地としてしだいに注目され人口も急速に増加しました。

読者の皆さまは、同市がプロ野球「読売巨人軍発祥の地」とご存じでしょうか。昭和9年に日本野球界の発展育成を目的に、アメリカ選抜チームを招聘（しょうへい）するために全日本チームが編成され、谷津の地に集結しました。後にこのときの全日本チームが母体となり、日本初のプロ野球球団「大日本東京野球倶楽部（現読売巨人軍）」が誕生しました。谷津公園には、その歴史を伝える記念碑や選手の手形、サインが設置されています。

誠実で健全な経営体制を基盤に24時間365日シフト体制で顧客からのニーズに対応

本日の目的地は、東関東自動車道「谷津船橋インターチェンジ」からほど近いところに所在し、その立地条件のよさから周辺には多数の企業が営業拠点として進出しています。現地に到着し「こんにちは健保組合です！」と2階事務所を訪ねると、今回の取材にご快諾いただいた西宮社長と西宮彰宏専務に迎えられ、応接室に案内してくださいました。

しばらくすると、西宮社長が「いつもお世話になっております」と、趣味でご自慢の桜の盆栽をお持ちになり、入室されました。折しも今日3月3日は桃の節句「雛（ひな）祭り」ですので、これから桃の花が見ごろを迎える時期ではありますが、1ヵ月ほど早い桜の開花を間近にし、私たちはよりいっそうの春の訪れを感じることができました。薄ピンク色の花々がきれいに咲き誇り、ほのぼのとした雰囲気に包まれながら取材を始めさせていただきました。

▲西宮社長ご自慢の桜の盆栽

初めに、社史ならびに同社の事業内容についてお伺いしました。

東京宅配事業㈱は、昭和50年に先代社長が知人から事業を継承し千葉市にて創業、約40年の歴史ある企業です。平成4年に西宮現社長が二代目として就任、翌年、企業庁による埋め立て地区の企業誘致を受けて本社を現所在地に移転されました。創業時から続く誠実で健全な経営体制を基盤に、西宮社長の強いリーダーシップの下、長年にわたり取引先から厚い信頼を得て厳しい時代を乗り越えてこられました。

事業内容は、日通航空とサッポロビール千葉工場との取り引きを主力業務として、印刷物や精密機械部品、食料品などの配送を手がけられ、24時間365日シフト体制で顧客からのニーズに対応していらっしゃいます。

▲東京宅配事業㈱のトラック

今後の展望については、「人材育成とコンプライアンス遵守、顧客の信用を守りながら企業経営を継続していきます」と創業当時から続く誠心誠意を受け継いでいかれるようです。「人材育成」というキーワードをお聞きしたところで、話題は同社の社員教育について移行しました。

女性社長ならではの視点や特性を生かして交通事故ゼロをめざし、徹底した社員教育を行う

人を育てるということは、重要な経営要素であって、企業の成長・発展には欠かすことができません。西宮社長は、「お客さまからお預かりした大切な荷物は、安全に確実に納品先へ納めなければいけません。万が一、事故が起きると取引先や関係者に迷惑をかけてしまいます。交通事故ゼロをめざし、徹底的に社員教育を行っています」と断言されました。

社長就任当時は、運転技術はもちろんのこと、接客態度や、言葉遣いなどのマナーやサービスを身につけさせるために、みずからトラックに同乗して全国各地の納品先を回り、直接指導に当たられたそうです。西宮社長は車の運転がお好きで休日は遠方までドライブをされるようですが、ご自身が通った道路や標識、目印などを鮮明に記憶され、ドライバーに効率的な配送ルートのアドバイスをすることもあるそうです。

また、「女性ならでは」と前置きをしつつ、「あいさつの声の調子や態度、顔の表情を見るだけで体調が優れているかどうか一目でわかります」ともつけ加えられました。ドライバーの資質向上や一人ひとりの体調、メンタル面など細かいところまで目を配られる西宮社長は正に〝ドライバーの母〟という言葉がぴったりではないでしょうか。

運送業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況ではありますが、女性社長ならではの視点や特性を生かして同社はますます発展していかれることでしょう。

「気持ちのリフレッシュ」を図られ、オンとオフの切り替えで上手にストレス発散

最後に、ご自身の健康管理についてお聞きしました。

西宮社長は、前述のように趣味のお花や盆栽鑑賞のほか、ドライブや温泉旅行へ精力的にお出かけになり、「気持ちのリフレッシュ」を図られていらっしゃいます。西宮専務は、深夜に帰宅することも多いようですが、限られた時間の中でもご家族との時間を大切にして上手にストレスを発散されているようです。ご多忙の毎日をお過ごしのようですが、オンとオフの切り替えがお上手とお見受けしました。特に、お二人ともふだんの食事にはたいへん気をつけていらっしゃるようです。

最近では、「食」に関する知識と「食」を選択する力を身につけ健全な食生活を実践できる人を育てる「食育」の推進や、栄養バランスに優れる「和食」が世界無形文化遺産に登録されたように、食事の重要性に関心が集まっております。

「健康は宝です！」のでお二人には引き続き健康にご留意され、健康管理のお手本としてますますご活躍されますよう祈念いたします。

こうして、話題が絶えることなく予定の時間を迎え、今日の取材を終えることとなりました。ご協力くださった皆さま、本当にありがとうございました。